タルテュッフ（1925）

TARTUFF

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ドイツ
色彩 B&W
時間 63分
初公開日 1927/
公開情報 劇場公開

【解説】

いかにもドイツ映画らしい太い骨格と強い陰影のコントラストを持った、モリエールの原作劇『タルチュフ』のムルナウ流映画版。旧家オルゴン家の当主は信仰深く堅実な老人。うら若き後妻エルミールと家政婦と、広い屋敷に３人て暮らしている。が、実はこの家政婦こそ羊の皮をかぶった狼で、司祭を装った偽善者タルチュフをそれとなく一家に招き入れる手引きをする。これに気づいた役者である老人の不肖の孫は、祖父に『タルチュフーあるいはオルゴン氏とその親しい友人の物語』という題の映画を見せる。孫の忠告に耳を貸そうともしなかった老人もやがて映画の中に真実を看取って、使用人とゲストの悪企みを知り、慄然とする。全般的に多少演劇的にすぎるきらいはあるが、映画による劇中劇（映画内映画）をいち早く取り上げ、しかも相当鮮やかにこなしていることに、少なからず脅威を感じる、映像の革命児ムルナウの作品。なにせ、タイトル・ロールを演じるヤニングスの鬼気迫るなりきり具合が立派である。

【クレジット】

監督	Ｆ・Ｗ・ムルナウ	F.W. Murnau
原作	モリエール	Moliere
脚本	カール・マイヤー	Carl Mayer
撮影	カール・フロイント	Karl Freund
出演	エミール・ヤニングス	Emil Jannings
	ヴェルナー・クラウス	Werner Krauss
	リル・ダゴファー	Lil Dagover
	ルチー・ヘーフリッヒ	Lucie Hoflich

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.